

令和元年度地方創生関係交付金に係る事業実施結果

No	交付対象事業の名称	事業概要等	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	実績値	事業効果 (達成率:実績値/指標値)	事業の評価 (選択方式)	外部有識者からの意見	今後の方針 (選択方式)	今後の方針の理由
1	日立駅前再活性化事業	<p>【事業概要】</p> <p>(1)交流拠点(親子がふれあい・遊べる環境、カフェスペース、ワークショップスペース)の整備</p> <p>(2)幼児や児童が知的発育を促進する玩具や、幼児や児童の学習の助けになる玩具など、子どもの発育に寄与する遊具の整備</p> <p>(3)ワークショップ等のイベントの実施</p> <p>(4)子育てにかかわる女性等の就業相談・子育てに係る様々な相談に対応できる環境等の整備及び職業紹介、就業相談の実施</p> <p>【令和元年度実績】</p> <p>屋内型子どもの遊び場(Hiタッチランド・ハレニコ)を整備し、10/1の供用以降58,721人の利用者を集めた。(新型コロナウイルス感染症の影響により3/5以降休館)</p> <p>季節に合わせたイベントや、転入親子向けの施設紹介ツアーなどの開催により、利用者の増加と駅前中心市街地の活性化を図った。</p>	124,993,594	指標①	利用料収入	10,000	千円	8,073	効果があった	地方創生に有効であった	事業を継続させる	令和元年10月1日に屋内型子どもの遊び場を開設以降、月平均1万人超の利用者を集め、利用者の満足度の高い運営が図られていること(利用者の約4割)や、同建物内の商業施設での買物利用にもつながっているなど、狙いどおりの効果が得られている。
指標②	当該事業による職業紹介及び就業相談者	50	人	0								
指標③	当該事業によるワークショップ等のイベント件数	5	件	11								
2	わたちの科学を軸としたまちの賑わい創出事業	<p>【事業概要】</p> <p>(1)「わたちの科学」を軸とした交流拠点施設整備 (日立シビックセンター科学館の再整備) ア 展示スペースの整備 (サイエンスアトリエ、ひらめきガレージ、はっけんフィールド、サイエンススタジオ、ジュニアフィールド、コミュニケーションカウンター、宇宙コーナー等) イ ミュージアムショップ等の整備</p> <p>(2)体験型展示品の整備</p> <p>【令和元年度実績】</p> <p>計画どおり整備を進めた。</p> <p>(整備概要)</p> <p>地下1階に設置されていた科学館入口を1階に移し、総合案内(チケットカウンター含む)及び科学館の受付を一体的に整備するとともに、ミュージアムショップを隣接し、科学館入館者以外にも利用しやすい環境を整備</p> <p>科学館入口移設後の地下1階については、現在不足している、市民団体向けにイベントやワークショップを行える場所となる、オリエンテーションルームを整備</p>	180,950,000	指標①	科学館の収入		千円					
指標②	ショップの売上額		千円									
指標③	周辺商店街等へのアウトリーチ事業回数		回									
3	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト	<p>【事業概要】</p> <p><茨城県></p> <p>(1)東京圏の人材向けの情報発信強化</p> <p>(2)企業と連携した「ローカルとの関わり方」に関するセミナーの開催</p> <p>(3)民間の地域コーディネーターを介した「ひと」と「ひと」、「ひと」と「しごと」のつながりが創出される仕組みの構築</p> <p><日立市></p> <p>(1)東京圏の社会人や学生を対象に、市内企業の見学、技術体験等のツアーや市内企業へのインターンシップの実施</p> <p>(2)求人情報や企業PR等を一元的に発信する雇用センター多賀専用ホームページの作成</p> <p>(3)「関係人口」増加による「しごと」の創出を促進するための商店街活性化コーディネーターの配置</p> <p>(4)新規創業者及び他地域からの誘致企業等の支援のため、第2の街なかマイクロクリエイションオフィスの整備</p> <p>【令和元年度実績】</p> <p>(1)インターンシップ参加人数:12人、企業見学ツアー実施回数:6回(22人参加)、東京圏等でのプロモーション実施回数:7回(571人参加)、PR動画・冊子の作成</p> <p>(2)令和元年12月に雇用センター多賀専用ホームページ「わたち しごとのかたち」を開設した。</p> <p>(3)地域人材を商店街活性化コーディネーターとして委嘱し、常陸多賀駅前の空きビルを活用した、第2の街なかマイクロクリエイションオフィス「晴耕雨読」の整備検討を進めたほか、DIYイベント等商店街でのイベントを開催した。</p> <p>(4)令和2年3月に「晴耕雨読」が完成した。</p>	日立市 40,558,416	指標①	【茨城県】 県及び連携市町村で把握する移住者数・二地域居住者数	80	人	【茨城県】 96人 【日立市】 1人	【茨城県】 検証中 【日立市】 効果があった	地方創生に有効であった	事業を継続させる	<茨城県> (外部組織による検証:R2.8月予定)
指標②	【茨城県】 この事業により創出される「関係人口」数	2,000	人	【茨城県】 2,083人 【日立市】 33人								
指標③	【茨城県】 東京圏の副業ワーカーやフリーランス等による新たな「しごと」の創出件数	15	件	【茨城県】 15件 【日立市】 -								
4	わくわく茨城生活実現事業	<p>【事業概要】</p> <p><茨城県></p> <p>(1)一定の要件を満たす移住者へ移住支援金(世帯:100万円、単身:60万円)を支給</p> <p>(2)マッチングサイトや求人広告セミナー等により移住者と地域企業のマッチングを支援</p> <p>(3)県が抱える社会的課題に対して効果的な起業をする者に対して、起業支援金の給付や伴走支援を実施</p> <p><日立市></p> <p>(1)移住支援金の支給等に関する事務</p> <p>(2)マッチング支援に協力する企業の推薦</p> <p>【令和元年度実績】</p> <p>事業チラシ及びポスターなどを市内企業や金融機関、商工会議所等関係機関へ郵送するなど、本事業の周知に努めた。</p> <p>協力企業6社(茨城県70社)※令和2年6月1日現在</p>	日立市 31,000	指標①	【茨城県】 本移住支援事業に基づく移住就業数(人)	78	人	【茨城県】 1人 【日立市】 0人	【茨城県】 検証中 【日立市】 効果があった	地方創生に有効であった	事業内容の見直し(改善)	<茨城県> (外部組織による検証:R2.8月予定)
指標②	【茨城県】 本移住支援事業に基づく移住起業数(人)	2	人	【茨城県】 0人 【日立市】 0人								
指標③	【茨城県】 本起業支援事業に基づく起業数(人)	5	人	【茨城県】 6人 【日立市】 1人								
指標④	【茨城県】 マッチングサイトに新たに掲載された求人数(件)	200	件	【茨城県】 207件 【日立市】 -								